

2019年度 環境研究助成 募集要項



公益財団法人 住友財団
The Sumitomo Foundation

人類が直面している最大の問題の一つである環境問題の解決・改善に資する研究に対して、以下のとおり助成を行います。

一般研究	課題研究
------	------

1 助成対象研究

<p>環境に関する研究</p> <p>分野は問いません。環境問題の解決・改善のためには、多面的アプローチによる分析と様々な対応策の構築が必要と考え、そのためのいろいろな観点（人文科学・社会科学・自然科学）からの研究に対する支援を行うものです。</p> <p>尚、引続き東日本大震災等震災関連の研究や放射能汚染などの原発事故に関わる研究も歓迎します。</p> <p><例></p> <p>自然科学分野 大気圏、水圏、地圏、生物圏等の環境に関する研究 省エネ・省資源、廃棄物処理等対策技術の研究</p> <p>人文・社会科学分野 環境問題の分析・評価、環境計画 環境問題に関する政策的研究</p> <p>その他環境に関する総合的研究</p>	<p>本年度募集課題 「深刻化する環境問題の理解および解決のための学際研究または国際共同研究」</p> <p>国内における過疎化や高齢化、あるいは新興国や発展途上国における都市化や工業化などに伴い、国内外の各地域において様々な環境問題が深刻化しており、それらの問題の科学的な理解と根本的な解決が求められている。また、気候変動や海洋汚染などの地球規模の環境問題も深刻化しており、それらの問題への対処が求められている。</p> <p>本課題研究は、国内または海外の都市、農山漁村、災害被災地などにおける地域固有の環境問題の理解および解決に関する研究、あるいは激甚化する気候変動の影響など深刻な地球規模の問題の理解と解決に関する研究を対象とする。対象とする研究には、喫緊の環境汚染問題、深刻化する地球規模の環境問題、生物多様性の保全、再生可能資源・エネルギーの利用、持続可能な開発目標（SDGs）の達成、災害に強い安全・安心な社会の実現などの多様な課題が含まれる。</p> <p>深刻化する環境問題の理解と解決のためには、自然科学と人文・社会科学の垣根を越えた多分野の知見をもとにした総合力が求められることを鑑み、学際的または国際的なグループ研究が強く期待される。</p> <p>【課題研究応募について（補足説明）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記募集課題に沿った研究テーマであれば、基礎研究、個人研究でも構いません。 ・年齢や職位にとらわれず若手研究者でも構いません。
---	--

2 助成金額と件数

総額	7,000万円	総額	3,000万円
1件当たりの助成額	最大500万円	1件当たりの助成額	最大1,000万円
助成件数	50件程度	助成件数	3件程度

（今年度より一般研究助成総額は7,000万円、課題研究助成総額は3,000万円に変更しました。）

3 助成期間

<p>原則として1年間 （2019年11月～2020年10月） 助成期間中に必要な場合は2年間を限度として延長可</p>	<p>原則として2年間 （2019年11月～2021年10月） 助成期間中に必要な場合は2年間を限度として延長可</p>
--	--

（昨年度より助成期間の延長は従来の「1年間を限度」から「2年間を限度」に変更しました。）

4 応募資格

研究者個人または研究グループ

- ①国籍に関係なく、日本の大学等の研究機関に所属し、申請に関する所属機関の長(大学の場合は学科長・学部長以上)の承諾がとれるのであれば応募可能です。
 - ②上記①以外であっても、日本国籍を持つ者または日本に永住を許可されている外国人は応募可能です。尚、海外の大学等の研究機関に所属している者は申請に関する所属機関の長の承諾を得ることが必要です。
- ①、②とも申請書は、日本語または英語の記入を可としますが、英語の場合は申請書の1ページ目だけは日本語で記入し、研究機関に所属している場合は、所属先の日本語で連絡または照会できる連絡担当者を、研究機関に所属していない場合は、日本語で連絡または照会できる連絡担当者(本件に対応可能な方であること)を指定し記入して下さい。
- 尚、研究者の所属が営利企業(兼務を含む)の場合には応募不可です。

【注意】

- 応募する研究者(グループの場合は代表者)が研究計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び助成期間満了後の報告を確実にこなすことを条件とします。
- 応募する研究者は、本年度当財団の研究助成に複数または重複して応募は出来ません。尚、他の申請者の共同研究者として名前が記されることは問題ありません。

5 助成対象となる費用

研究に直接必要な経費

但し、以下に記載した費用は対象外とします。

- 応募する研究者本人及び共同研究者の人件費
- 汎用性のある機器(例：パソコン、ファクシミリ、複写機)の購入費
(但し、助成対象研究に特に必要なパソコンは可とします)
- 応募者が所属する組織の間接経費・管理経費・共通経費

6 助成の対象とならない研究

営利目的、または営利につながる可能性の大きい研究

他の機関からの委託研究

実質的に完了している研究

7 助成対象者の義務等

助成対象者は、当財団と「合意書」を締結し、助成期間満了後に研究の経過・結果、及び会計に関する報告を提出して頂きます。提出された研究成果報告書は国立情報学研究所の「民間助成研究成果概要データベース」へ登録、また住友財団のホームページでも公開します。研究成果を発表する場合には、当財団の助成を受けたことを明示して頂きます。

8 選考手続

当財団の選考委員会にて選考のうえ、2019年10月頃開催予定の理事会にて決定し、直ちに採否を文書で各申請者に連絡します。尚、採否の理由についてのご照会には回答致しかねますのでご了承下さい。

9 選考基準

以下諸点に重点を置き選考します。

- 社会性 研究目的に対する学術的・社会的要請が大きいもの
- 実現性 研究計画が十分に検討されていて目的達成の可能性が高いもの
- 独創性 独創性に優れ、他の研究の端緒となる可能性のあるもの
- 境界性 従来 of 学問の分野の境界にあるもの
- 必要性 政府・企業等の補助、助成が得難い等、当財団の助成の必要性が高いもの

10 応募手順

当財団の応募は、申請者が Windows パソコンを操作して行う事を前提としています。Macintosh 等他 OS のパソコンを使用すると、送信された PDF のデータを財団で取り込めません。そこで申請者は**必ず Windows パソコンを使用する**ようお願いいたします。財団 HP からファイルをダウンロードする時から Windows パソコンをご使用下さい。

(ア) ホームページからの申請書類のダウンロード

- ① ホームページ(<http://www.sumitomo.or.jp/>)を開き、左欄目次の「環境研究助成」をクリックして頂くと、環境研究助成のページが開きます。
- ② 開いたページの「応募方法」の欄に朱書きで「募集要項」、「申請書記入要領」、「申請書フォーム(1ページ)」及び「申請書フォーム(2～5ページ)」と表示されています。これらの項目の右側にある下線の付いた文字をクリック頂くとそれぞれのページが開きます。
- ③ PDF 形式のファイルの読み取りには Acrobat Reader が必要となります。ご入用の場合は、同ページの朱書きの「Acrobat Reader」をクリックして頂くと Adobe のホームページにリンクし、無償でダウンロードできます。

(イ) 申請書の作成

- ① 申請書を記入要領に従い作成します。申請書は全部で5ページです。「申請書フォーム(1ページ)」が申請書の1ページ目に、「申請書フォーム(2～5ページ)」が申請書2～5ページ目になります。**1ページ目は、必ず、日本語で入力**して下さい。申請書2～5ページ目は英語でも構いませんが、その場合は、必ず、日本語で連絡または照会できる連絡担当者(申請者が研究機関に所属している場合は、所属機関の連絡担当者)を記入して下さい。
- ② 「申請書フォーム(1ページ)」はデータ入力可能な PDF となっており、入力後保存します(署名・捺印する前の承諾書欄は未記入の状態)。財団では、入力されたデータを取り込み、申請者管理の為に使用しますので、**画像や写真データにはしないで下さい**。
- ③ ホームページ「環境研究助成」のページの「応募方法」に「Q&A(よくあるご質問)」も掲載していますので参考にして下さい。
- ④ 当財団所定の申請書様式による申請を条件とします。

(ウ) 受付番号の取得

- ① 所属機関の承諾が取れることを確認した上で、上記(イ)②で保存した「申請書フォーム(1ページ)」のファイルのみをメールに添付して以下の環境研究助成申請受付専用アドレス宛に送付します。尚、申請書フォーム「(2～5ページ)」は受付には必要ないので送信しないで下さい。

申請受付専用アドレス：sumitomo-found.kanbosyu2019@xvf.biglobe.ne.jp

データ送信の締切は6月10日(月)必着とします。

注) メールは平日 9:00～17:00 を目処に送信して下さい。

データ送信の締切直前は受付が集中し、受付番号の連絡に時間がかかりますので、データ送信は余裕をもって、極力早めに行うようお願いします。

- ② 財団側で申請書データを確認後、受付番号をメールで連絡します。
- ③ メールで送信された受付番号(4桁)を申請書1ページ右上と申請書2～5ページ右上の「受付番号19」の後に続けて入力します(番号は印刷後の用紙に手書きでも可)。
- ④ 受付番号を入れた申請書2～5ページを印刷して、同じく受付番号の入った申請書1ページとセットして申請者が署名・捺印し、承諾書欄を記入の上、所属機関の長の承諾印を受けて申請書原本とし、コピーを1部取ります。

(エ) 申請書類の送付

以下の書類を郵送にて住友財団宛お送り下さい。

- ① 申請書原本 1部
- ② 申請書コピー 1部

【注意】

- 原本、コピーとも片面5ページ、黒単色でお願いします。（両面コピーは不可）
原本は左上をホッチキスで留めて、コピーは留めずに（クリップ止めも不要）ページ順にして、クリアファイルにはさんで下さい。
- 申請書1ページのデータ送信後に「入力したデータの変更・修正」をした場合は、印刷した原本に「変更あり」と書いた付箋をつけ、該当箇所がわかるように蛍光ペンで色をつけて下さい。
- 送付の際、封筒表に「環境申請書在中」と記入して下さい。
- 不備がある場合、受付できませんので必ず募集要項・申請書記入要領をご覧の上申請書を作成して下さい。尚、海外からの申請における住所等の英語での記入、同様にレターサイズでの印刷等やむを得ない変更は可とします。

1 1 その他注意事項

- ご送付頂いた申請書等は返却致しません。
- 書類管理の都合上、財団への持参はお断りします。
- 申請書類は、受付番号を取得次第、以下に記載の郵送書類の提出締切日（6月30日）必着にて、提出して下さい。
- 申請書1ページのメールによるデータと郵送による申請書類の両方が到着した時点で受付完了となります。
- 郵送による申請書類を受領した段階では改めてEメールによる受領通知は致しませんので、申請書類は念のため配達記録される方法（「簡易書留」等）でお送り下さい。
- 申請受付用のメールアドレスは募集期間終了後一定期間経過した時点で使用を終了します。申請受付完了後に各種照会・連絡等が必要になった場合は、受付番号を明記の上、以下に記載のメールアドレス宛ご連絡下さい。

【個人情報の取り扱いについて】

- 申請書にご記入頂いた個人情報は、選考及び選考結果のご通知のために使用致します。
- 助成が決定した場合は、申請書にご記入頂いた助成対象者のお名前、所属、職位及び助成対象研究テーマと、助成金額を公表致します。

1 2 応募締切日

データ送信の締切： **2019年6月10日（月）必着**

郵送書類の締切： **2019年6月30日（日）必着**

1 3 応募・お問い合わせ先

105-0012 東京都港区芝大門 1-12-16 住友芝大門ビル2号館

公益財団法人 住友財団

TEL 03-5473-0161 FAX 03-5473-8471

E-MAIL sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp

URL <http://www.sumitomo.or.jp>

予 告

2020年度課題研究助成の募集課題は

2019年10月頃に発表の予定です。